

# ～交通安全指導のポイント～

児童による歩行中の交通事故で最も多いのが道路への「飛び出し」によるものです。歩行中の交通事故を防ぐためには、児童に対し安全な横断方法を繰り返し指導し、確実に実践させる必要があります。

下校前の声掛けや校外活動時など、実際に道路を横断する機会を捉えて何度も繰り返しの指導をお願いします。



## ポイント1 「飛び出し」の危険性

「飛び出し」という行動の危険性を具体的にイメージさせ、飛び出しがなぜ危険なのかを指導し、しっかり止まって左右の安全を確認することの重要性を認識させてください。

- ☆ 飛び出しをしてしまう場面をイメージさせる  
例) ボールを追いかけたとき  
友達や家族に呼ばれたとき  
友達と遊んでいて走っていたとき  
遅刻しそうになり慌てていたとき など



- ☆ 飛び出しがなぜ危険なのかをイメージさせる  
➔ 飛び出しをするとどうなるか、なぜ事故に遭うかを考えさせましょう
- ☆ 飛び出しを防ぐためにどうすればいいかを考えさせる  
➔ 車が来ているかどうかに関わらず、まず「渡る前に一度止まって自分の目で左右の安全確認をさせる」ことが重要だと教えましょう

## ポイント2 物陰からの横断の危険性

建物や車の陰にいる児童は、車の運転手から見えにくい存在です。

見えないことで生じる危険性について具体的にイメージさせ、物陰から横断する危険性を教えましょう。

- ☆ 物陰の危険性を理解させる  
➔ 看板や駐車車両などの物陰は、車の運転手からも、横断しようとする児童からも、お互いを認識しづらい場所です  
➔ 物陰からの横断は大変危険な行為であることを理解させましょう

- ☆ 児童の身長と車の高さについて  
➔ 学校保健統計調査によると、小学1年生の平均身長は約116cm、小学6年生では約145cmとなっており、普通車の高さ約150cmより低く、車の陰にすっぽり隠れてしまいます



# ポイント3「止まって、見て、合図を出して、待って」 渡るの習慣化

安全な横断の手順である

- 1 横断する前に一度「**止まる**」
- 2 右から左という一定の手順でしっかり「**見る**」
- 3 手を上げ、ドライバーに顔を向けるなど、「**合図を出して**」横断する意思を明確に伝える
- 4 安全に横断できる状況になるまで「**待つ**」を正しく理解させ、その手順を**習慣化**させましょう。



# ポイント4 交差点の安全な通行方法

交差点における交通事故の中で最も多いのが「**横断歩道横断中**」です。青信号といえども、右折や左折の車が進行してきますので、このような車との交通事故を防ぐために、**周囲の安全確認**の必要性を認識させ、**実践**させてください。

☆ 横断前の「**止まる位置**」を理解させる

- ➔ 待つときは、**白線や縁石から少し離れた場所**やガードレールの後方等の安全な場所で待つよう教えましょう
- ➔ 左折する大型車の内輪差による巻き込み事故や、交通事故の衝撃で弾かれた車が歩道上に進入してくる場合があることを説明し理解させましょう



☆ 信号を守ることを理解させる

- ➔ 安全に交差点を進行するためには、**信号を守る**ことが大切です
- ➔ **黄色信号や青信号の点滅は赤信号と同じ**で横断してはいけないという意味であることを教え、**慌てて渡ると事故に遭うおそれがある**ことを理解させましょう

☆ 横断中の危険性を理解させる

- ➔ 横断歩道を横断する際は、**信号が青になったからといって飛び出さない**ことを教えましょう
- ➔ 必ず**左右の安全確認**をして、車が止まっていることを確認するよう教えましょう



～ お 願 い ～



子供たちの命を守るのは、我々大人に与えられた重要な責務です。悲惨な交通事故から一人でも多くの子供たちを守るため、これからも先生方と一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、子供たちに対する交通安全教育にご協力をお願いします。

飯 塚 警 察 署